

土耳其を屠り、其の精良なる人民を撰んで部下に屬せしめ、凱歌を奏して東方に還るに際し、多くの波斯人隨ふて新疆に入り來りしもの既に南路に在りし同胞と相逢ひて、皆此に土着したり。由來彼等は東西の外國、即ち亞刺比亞人、蒙古人、波斯人、滿漢族等の征服に遭ひ、幾多の變亂を経過したると共に、人種も亦其の都度混血に混血を重ね、且つ其人口増減常なきが故に終に祖先以來の本質を變じ、今や清人と大差なきに至りたり。

然れども其の特徴として、祖先波斯人の面目を遺すは、即ち男子の鬚髯多く且つ美なること及間、深目隆鼻「アリヤン」人種に酷似するもの、殊に女子に多きこと是なり。尙ほ且つ其の言語に於て、祖先の遺音を留めたり。

一歴史家の説に據れば、

北史に高昌即ち今の吐魯番以西の人民は、皆深目高鼻、唯于闐人稍、中國人に似たりと在るも、深目高鼻は「アリヤン」人種の顔相にして、現に尙ほ其の顔相を有する種族は、葉爾羌地方に多し。又葉爾羌地方に於ては、往昔波斯語行はれたりと。思ふに以西の土民も、西土耳其機斯坦人と同じく、其の祖先は皆大食國民たりしを